

地域の「挑戦」〈チャレンジ支援事業取り組み事例〉



県では、農業関係者と、消費者や食品産業、観光関係者など幅広い分野の方とのパートナーシップによる取り組みを進めています。特に、地域の知恵や発想を生かした実験的な取り組みを支援しています。平成18年度に実施された取り組みの一部をご紹介します。

焼酎用甘藷^{かんしょ}生産へのチャレンジ



「さつまいも収穫体験」の様子



ツル切り機での作業の様子

山江村では、農家所得の向上と遊休農地の解消を図るため、焼酎会社と連携し、焼酎用の甘藷の生産を開始しました。収穫などの手作業が多いことから、栽培面積の拡大が課題となっていました。平成18年度に掘り取り機などの機械を導入したことで栽培面積が拡大しました。また、「さつまいも収穫体験」などにも取り組み、グリーンツーリズムの活動も活発になっています。

安全・安心ないちじく生産へのチャレンジ



いちじくのハウス栽培の様子



いちじくのコンフィ(ジャム)

宇城市では、地域特産物としていちじくの産地化が進められています。特に、消費者の食の安全・安心への関心の高まりに対応するため、減農薬、減化学肥料による高品質ないちじくを生産を目指しています。また、地元の加工グループによる新商品の開発や販売も始まっています。

地元農畜産物を販売するシステムへのチャレンジ



「地産(讀)地消(奨)リーフレット」

南小国町では、物産館が中心となって、地域で作られた農畜産物を宿泊施設や飲食店へ供給する体制が作られました。安定した供給のための保冷库や、通いコンテナの整備をはじめ、観光客へPRする「地産(讀)地消(奨)リーフレット」の作成や、地元野菜の新メニュー試食会などを実施しています。

新規作物「ふき」の導入にチャレンジ



ふきの栽培ハウス



ふきの植付け実習の様子

菊池地域では、地域資源である「水」と「堆肥」を活用して、収益性が高く、今後需要が見込める「ハウス促成ふき」を導入しました。平成18年度、JA菊池では栽培希望農家を募集し、講習会などを重ねて試験出荷を行いました。また、10月には「JA菊池ふき部会」が新たに設立され、今後のさらなる活動が期待されています。

特産品利用による加工品開発にチャレンジ



先進地研修の様子



新しい農産加工品

芦北地域の特産品である「デコボン」「サラたまちゃん」を利用した加工品の開発を、食品産業関係者や研究機関などと連携して取り組みました。平成18年度に開発された加工品は、「デコボンほん酢」「デコボンドレッシング」「サラたまちゃんドレッシング」。芦北ブランドの青果物が、おいしい加工品となって生まれ変わりました。

有機質土壌改良資材を利用した柑橘^{かんきつ}栽培にチャレンジ



デコボン

天草地域では、有機質土壌改良資材を混ぜた堆肥を利用し、土作りに重点を置いた柑橘生産に取り組みました。生産の安定・向上はもとより、味と安全にこだわった栽培を普及し、天草地域ならではの、こだわりの商品の開発やブランド化に取り組んでいます。

お問い合わせ

熊本県農林水産政策課 政策企画室 農政政策班 ☎ 096-333-2364 FAX 096-383-3270
電子メール norinsuisan@pref.kumamoto.lg.jp 地産地消ホームページ <http://cyber.pref.kumamoto.jp/chisan/>